

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0252

		令和5年度行政事業レビューシート			( 文部科学省 )		
事業名	先端研究基盤共用促進事業			担当部局	科学技術・学術政策局	作成責任者	
事業開始年度	平成19年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	研究環境課	研究環境課長 稲田 剛毅	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第35条			関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月7日閣議決定) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画フォローアップ(令和4年6月7日閣議決定)		
政策	8 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-3 研究開発活動を支える研究基盤の戦略的強化						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-05.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	産学官が有する研究施設・設備・機器は、科学技術イノベーション活動の原動力である重要なインフラであり、全ての研究者が必要な研究施設・機器にアクセスでき、より研究に打ち込める環境を実現するため、大学・研究機関等における研究施設・設備・機器の共用体制の確立を目指す。						
現状・課題(5行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究組織(学科・専攻規模)単位での研究施設・機器の共用の取組は一定程度進展してきたが、大学全体として、研究施設・機器群を戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化することが重要。</li> <li>国内有数の先端的な研究施設・設備については、全ての研究者が使いたい施設・設備を気軽に活用できるよう、全国からの利用に係る利便性向上を図ることが必要。</li> </ul>						
事業概要(5行程度以内)	<p>(1)コアファシリティ構築支援プログラムでは、研究機関全体で設備のマネジメントを担う統括部局の機能を強化し、研究室等の各研究組織での管理が進みつつある研究施設・機器を、研究機関全体の研究基盤として戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化(コアファシリティ化)する。</p> <p>(2)先端研究設備プラットフォームでは、国内有数の先端的な研究施設・設備について、全ての研究者が使いたい施設・設備を気軽に活用でき、研究に打ち込める環境を実現するため、遠隔利用・自動化を図りつつ、ワンストップサービスによる利便性向上を図る。</p> <p>(1)については、令和2年度から、(2)については、令和3年度から実施している。</p>						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	1,213.1	1,185.2	1,180.4	1,178.7	1,176.5
		補正予算(B)	-	-	-	1	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	1	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	1,213.1	1,185.2	1,180.4	1,179.7	1,176.5
		執行額(G)	1,168	1,166	1,167	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	96%	98%	99%	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	96%	98%	99%	-	-		
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究振興費	-	-	-		
	(目)	科学技術試験研究委託費	1,161	1,159			
	(目)	庁費	9	9			
	(目)	委員等旅費	3	3			
	(目)	非常勤職員手当	2	2			
	(目)	諸謝金	1	1			
		その他	2	2			
	計(A)	1,178.7	1,176.5				

活動内容① (アクティビティ)	大学等において研究機関全体で設備のマネジメントを担う統括部局の機能を強化し、学部・学科・研究科等の各研究組織での管理が進みつつある研究設備・機器を、研究機関全体の研究基盤として戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化(コアファシリリティ化)する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	コアファシリリティの構築	コアファシリリティ構築支援プログラムによりコアファシリリティを構築した研究機関数	活動実績	拠点	5	15	15	-	-	
			当初見込み	拠点	4	13	15	15	15	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、まずは機関全体として管理等する共用機器数を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
	機関全体として研究設備・機器群を管理等するため、1機関あたり共用機器数100件以上を達成する。	コアファシリリティを構築する機関における共用機器数 *目標値は前年度実績より増となるよう設定	成果実績	件	1,259	3,754	4,230	-		
			目標値	件	500	1,260	3,755	4,231		
達成度			%	251.8	297.9	112.6	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文部科学省調べ									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	コアファシリリティ化により、機関全体として管理等する共用機器の利用が促進されると考えられるため、利用件数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度		
	機関全体として整備した共用機器の利用を拡大する	コアファシリリティを構築する各機関における共用機器の利用件数 *目標値は前年度実績より増となるよう設定	成果実績	件	200,773	462,741	492,989	-		
			目標値	件	85,000	200,774	462,742	-		
達成度			%	236.2	230.5	106.5	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文部科学省調べ									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)		全ての研究者に対し、国内有数の先端的な研究施設・設備について、使いたい施設・設備を気軽に活用でき、研究に打ち込める環境を実現するため、遠隔利用・自動化を図りつつ、ワンストップサービスによる利便性向上を図る。									
↓											
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		先端研究設備プラットフォームの構築	先端研究設備プラットフォームプログラムによるプラットフォーム数	活動実績	拠点	-	4	4	-	-	
				当初見込み	拠点	-	3	4	4	4	
↓		成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)									
		利便性向上に向けた取組としてワンストップサービスを構築することとしおり、効果発現の初期段階として、まずはワンストップサービスへの相談件数を短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		研究に打ち込める環境を実現するため、ワンストップサービスによる利便性を向上する	先端研究設備プラットフォームを構成する各プラットフォームにおけるワンストップサービスを利用した相談件数 *目標値は前年度実績より増となるよう設定	成果実績	件	-	20	75	-		
				目標値	件	-	18	21	76		
				達成度	%	-	111.1	357.1	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
↓		成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)									
		遠隔利用・自動化や、ワンストップサービスにより利便性向上を図ることとしていることから、利用件数を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度		
		国内有数の先端的な研究施設・設備の利用の改革により利用を拡大する	先端研究設備プラットフォームを構成する機関における1プラットフォームあたりの利用件数 *目標値は前年度実績より増となるよう設定	成果実績	件	-	4,131	4,332	-		
				目標値	件	-	465	4,132	-		
				達成度	%	-	888.4	104.8	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等 該当箇所		名称	新経済・財政再生計画 改革工程表2022								
		URL	<a href="https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/041222_divided/report_221222_2_5.pdf">https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/041222_divided/report_221222_2_5.pdf</a>								
		該当箇所	P.120 文教・科学技術 2. イノベーションによる歳出効率化等								



非常勤職員手当 2百万円  
 庁費 2百万円  
 職員旅費 0.8百万円  
 委員等旅費 0.5百万円  
 を含む

文部科学省  
 1,167百万円

大学・研究機関全体として、研究設備・機器群を戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化（コアファンリティ化）し、さらに、国内有数の先端的な研究施設・設備について、その整備・運用を含めた研究施設・設備間のネットワーク構築し、全ての研究者への高度な利用支援体制を有する全国的なプラットフォームを形成する。

委託 【随意契約(企画競争)】      委託 【随意契約(企画競争)】      委託 【一般競争契約(総合評価)】

A. 委託事業  
 (コアファンリティ構築  
 支援プログラム)  
 746百万円  
 (全15機関)

B. 委託事業  
 (先端研究設備プラットフォー  
 ムプログラム)  
 340百万円  
 (全4機関)

C. 支援業務委託  
 76百万円  
 科学技術振興機構  
 (全1機関)

研究機関全体で設備  
 のマネジメントを担う統  
 括部局の機能を強化し、  
 研究室等の各研究組  
 織での管理が進みつつ  
 ある研究設備・機器を、  
 研究機関全体の研究  
 基盤として戦略的に導  
 入・更新・共用する仕組  
 みの強化(コアファンリ  
 ティ化)する

国内有数の先端的な  
 研究施設・設備につ  
 いて、全ての研究者  
 がそれぞれの研究に  
 適切なそれら研究施  
 設・設備を容易に活  
 用できる環境を実現  
 するため、遠隔利用・  
 自動化を図りつつ、ワ  
 ンストップサービスに  
 よる利便性向上を図  
 る。

各プログラムにおけ  
 る取組みの評価、事  
 業の管理等の支援業  
 務を実施する。

再委託  
 【随意契約(その他)】

再委託  
 【随意契約(その他)】

D. 委託事業(再委託)  
 (コアファンリティ構築  
 支援プログラム)  
 実施機関 17百万円  
 (全14機関)

E. 委託事業(再委託)  
 (先端研究設備プラッ  
 トフォームプログラム)  
 実施機関 201百万円  
 (全27機関)

研究機関全体で設  
 備のマネジメントを  
 担う統括部局の機能  
 を強化し、研究室等  
 の各研究組織での  
 管理が進みつつあ  
 る研究設備・機器を、  
 研究機関全体の研  
 究基盤として戦略的  
 に導入・更新・共用  
 する仕組みの強化  
 (コアファンリティ化)  
 に参画する。

国内有数の先端  
 的な研究施設・設備  
 について、全ての研  
 究者がそれぞれの研  
 究に適切なそれら研  
 究施設・設備を容易  
 に活用できる環境を  
 実現するため、遠隔  
 利用・自動化を図り  
 つつ、ワンストップ  
 サービスによる利便  
 性向上する取組に  
 参画する。

資金の流れ  
 (資金の受け取り先が  
 何を行っているかにつ  
 いて補足する)  
 (単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。費目と使途の双方で実情が 分かるように記載)	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	人件費	業務担当職員ほか	23	人件費	業務担当職員ほか	64	
	業務実施費	電子計算機諸費ほか	16	業務実施費	消耗品費ほか	27	
	設備備品費	共焦点レーザーラマン分光光度計高度化ほか	13	一般管理費		9	
	一般管理費		5				
計		57	計		100		
C.			D.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
人件費	業務担当職員ほか	58	業務実施費	消耗品費ほか	2		
業務実施費	借損料ほか	16	人件費	補助者ほか	1		
一般管理費		2	一般管理費		0.3		
計		76	計		3.3		
E.			F.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
設備備品費	励起レーザーの遠隔化ほか	14					
人件費	業務担当職員ほか	7					
業務実施費	消耗品費ほか	3					
一般管理費		2					
計		26	計				
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京工業大学	9013205001282	コアファシリティの構築	57	随意契約(企画競争)	34	100%	-
2	国立大学法人山口大学	9250005001134	コアファシリティの構築	57	随意契約(企画競争)	34	100%	-
3	学校法人早稲田大学	5011105000953	コアファシリティの構築	57	随意契約(企画競争)	34	100%	-
4	国立大学法人北海道大学	6430005004014	コアファシリティの構築	57	随意契約(企画競争)	34	100%	-
5	国立大学法人金沢大学	2220005002604	コアファシリティの構築	57	随意契約(企画競争)	34	100%	-
6	国立大学法人東北大学	7370005002147	コアファシリティの構築	50	随意契約(企画競争)	35	100%	-
7	国立大学法人東京農工大学	1012405001281	コアファシリティの構築	50	随意契約(企画競争)	35	100%	-
8	国立大学法人信州大学	3100005006723	コアファシリティの構築	50	随意契約(企画競争)	35	100%	-
9	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	コアファシリティの構築	50	随意契約(企画競争)	35	100%	-
10	国立大学法人筑波大学	5050005005266	コアファシリティの構築	45	随意契約(企画競争)	35	100%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人理化学研究所	1030005007111	NMRプラットフォーム	100	随意契約(企画競争)	9	100%	-
2	国立大学法人北海道大学	6430005004014	顕微イメージングソリューションプラットフォーム	100	随意契約(企画競争)	9	100%	-
3	国立大学法人大阪大学	4120905002554	研究用MRI共有プラットフォーム	80	随意契約(企画競争)	9	100%	-
4	国立大学法人大阪大学	4120905002554	パワーレーザーDXプラットフォーム	60	随意契約(企画競争)	9	100%	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人科学技術振興機構	4030005012570	研究開発推進事業等の実施に係る支援業務 (平成28年度からの複数年契約)	76	国庫債務負担行為等	-	-	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人海洋研究開発機構	7021005008268	コアファシリティの構築	3	随意契約(その他)	-	-	-
2	独立行政法人国立高等専門学校機構大分工業高等専門学校	8010105000820	コアファシリティの構築	1	随意契約(その他)	-	-	-
3	独立行政法人国立高等専門学校機構鹿児島工業高等専門学校	8010105000820	コアファシリティの構築	1	随意契約(その他)	-	-	-
4	独立行政法人国立高等専門学校機構函館工業高等専門学校	8010105000820	コアファシリティの構築	1	随意契約(その他)	-	-	-
5	独立行政法人国立高等専門学校機構呉工業高等専門学校	8010105000820	コアファシリティの構築	1	随意契約(その他)	-	-	-
6	独立行政法人国立高等専門学校機構富山高等専門学校	8010105000820	コアファシリティの構築	1	随意契約(その他)	-	-	-
7	独立行政法人国立高等専門学校機構群馬工業高等専門学校	8010105000820	コアファシリティの構築	1	随意契約(その他)	-	-	-
8	国立大学法人豊橋技術科学大学	1180305003290	コアファシリティの構築	1	随意契約(その他)	-	-	-
9	独立行政法人国立高等専門学校機構鈴鹿工業高等専門学校	8010105000820	コアファシリティの構築	1	随意契約(その他)	-	-	-
10	独立行政法人国立高等専門学校機構鶴岡工業高等専門学校	8010105000820	コアファシリティの構築	1	随意契約(その他)	-	-	-

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	8040005001619	パワーレーザーDXプラットフォーム	26	随意契約(企画競争)	-	-	-
2	国立大学法人浜松医科大学	6080405003188	顕微イメージングソリューションプラットフォーム	22	随意契約(企画競争)	-	-	-
3	公立大学法人横浜市立大学	5020005005343	NMRプラットフォーム	20	随意契約(企画競争)	-	-	-
4	国立大学法人大阪大学	4120905002554	NMRプラットフォーム	20	随意契約(企画競争)	-	-	-
5	株式会社日立製作所	7010001008844	顕微イメージングソリューションプラットフォーム	16	随意契約(企画競争)	-	-	-
6	国立大学法人広島大学	1240005004054	顕微イメージングソリューションプラットフォーム	16	随意契約(企画競争)	-	-	-
7	国立大学法人京都大学	3130005005532	パワーレーザーDXプラットフォーム	10	随意契約(企画競争)	-	-	-
8	国立大学法人熊本大学	2330005002106	研究用MRI共有プラットフォーム	7	随意契約(企画競争)	-	-	-
9	一般財団法人ファインセラミックスセンター	1180005014415	顕微イメージングソリューションプラットフォーム	7	随意契約(企画競争)	-	-	-
10	国立研究開発法人理化学研究所	1030005007111	研究用MRI共有プラットフォーム	6	随意契約(企画競争)	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

## 国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	C	国立研究開発法人科学技術振興機構	4030005012570	研究開発推進事業等の実施に係る支援業務 (平成28年度からの複数年契約)	76	随意契約(その他)	-	-	-